

支援センターの取組

北海道医療勤務環境改善支援センター 事務局長
公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会
認定登録 医業経営コンサルタント

合同会社 医業経営科学 代表社員 小山田 剛

厚生労働省／北海道／北海道労働局委託事業

北海道医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会 北海道支部

Tel. 011-214-9700

札幌市北区北10条西4丁目1-23-403

医師・看護師等の医療スタッフの離職防止や医療安全の確保を図るため、
医療法が改正され、平成26年10月1日から各医療機関が勤務環境の
改善に取り組むことが努力義務化されました。

新規開設

スタッフが働きがいのある
快適な職場づくりを応援いたします

「医療勤務環境改善支援センター」を開設しました。

【連絡先】

TEL 011-214-9700 FAX 011-214-9701（月～金／午前9時～午後4時）

E-mail: qqvd7xv9k@road.ocn.ne.jp

URL: <http://www.iryokinmukankyo.sakura.ne.jp/>

〒001-0010 札幌市北区北10条西4丁目1-23 赤いマンション北大前403

北海道医療勤務環境改善支援センターのご紹介

●開所

平成27年5月8日

●運営方式

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会北海道支部が北海道保健福祉部、北海道労働局より一括受託

●構成

センター長 日本医業経営コンサルタント協会 北海道支部長 赤井 撰
事務局長 日本医業経営コンサルタント協会 北海道支部理事 小山田剛
相談員 医業経営アドバイザー16名(協会 北海道支部会員)
医療労務管理アドバイザー16名(社会保険労務士)

●運営協議会11団体

北海道医師会、全日本病院協会北海道支部、日本病院会北海道ブロック支部、北海道病院協会、北海道精神病院協会、北海道看護協会、連合北海道、北海道社会保険労務士会、日本医業経営コンサルタント協会 北海道支部、北海道保健福祉部地域医療推進局、北海道労働局

医療従事者の勤務環境改善に取り組む医療機関への支援体制の構築 (平成27年度)

【事業イメージ(全体像)】

医師・看護職等の医療スタッフの離職防止や医療安全の確保等を図るため、国の指針・手引きを参照して、各医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に向けた取組を行う仕組み(勤務環境改善マネジメントシステム)を創設するとともに、こうした取組を行う医療機関に対する総合的・専門的な支援体制(北海道医療勤務環境改善支援センター)を設置する。

北海道医療勤務環境改善支援センター(委託先: 日本医業経営コンサルタント協会北海道支部)

各医療機関の勤務環境改善マネジメントシステムに基づく「勤務環境改善計画」の策定・実施・評価等を、専門家のチームにより、個々の医療機関のニーズに応じて、総合的にサポート

医療労務管理支援事業

(医療労務管理アドバイザー1名配置)

○労務管理面でのアドバイザー配置

社会保険労務士、
医業経営コン
サルタントなど

一
体
的
な
支
援

医療分野アドバイザー事業

- 診療報酬制度面
 - 医療制度・医事法制度面
 - 組織マネジメント・経営管理面
 - 関連補助制度の活用
- 等に関する専門的アドバイザーの派遣等

地域医療介護総合確
保基金対象事業

北海道労働局予算

北海道予算

※ 地域の関係団体と連携した支援
医師会・看護協会・病院団体・社会保険労
務士会・医業経営コンサルタント協会等

マネジメントシステム
の普及・導入支援、
相談対応、情報提供等

勤務環境改善に取り組む医療機関

勤務環境改善マネジメントシステム



院内で、院長、各部
門責任者やスタッフ
が集まり協議

ガイドラインを参考に
改善計画を策定

課題の抽出

現状の分析

改善計画の策定

- ・医療従事者の働き方・休み方の改善
多職種の役割分担・連携、チーム医療の推進
医師事務作業補助者や看護補助者の配置
勤務シフトの工夫、休暇取得の促進 など
- ・働きやすさ確保のための環境整備
院内保育所・休憩スペース等の整備
短時間正職員制度の導入
子育て中・介護中の者に対する残業の免除
暴力・ハラスメントへの組織的対応
医療スタッフのキャリア形成の支援 など

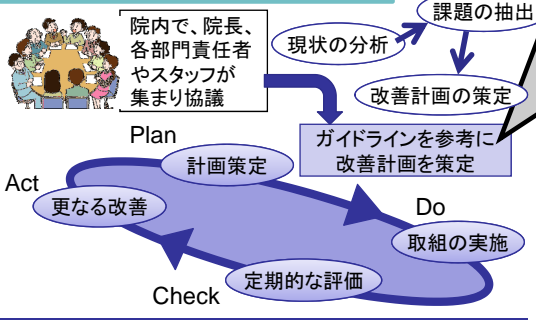
医療従事者の勤務環境改善の促進

医療従事者の離職防止や医療安全の確保等を図るため、改正医療法（平成26年10月1日施行）に基づき、

- ▶ 医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み（勤務環境改善マネジメントシステム）を創設。医療機関の自主的な取組を支援するガイドラインを国で策定。
- ▶ 医療機関のニーズに応じた総合的・専門的な支援を行う体制（医療勤務環境改善支援センター）を各都道府県で整備。センターの運営には「地域医療介護総合確保基金」を活用。
- ▶ 医療従事者の勤務環境改善に向けた各医療機関の取組（現状分析、改善計画の策定等）を促進。

勤務環境改善に取り組む医療機関

勤務環境改善マネジメントシステム



- ▶ 医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針（厚労省告示）
- ▶ 勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（厚労省研究班）

- 「医療従事者の働き方・休み方の改善」の取組例
 - ✓ 多職種の役割分担・連携、チーム医療の推進
 - ✓ 医師事務作業補助者や看護補助者の配置
 - ✓ 勤務シフトの工夫、休暇取得の促進 など
- 「働きやすさ確保のための環境整備」の取組例
 - ✓ 院内保育所・休憩スペース等の整備
 - ✓ 短時間正職員制度の導入
 - ✓ 子育て中・介護中の者に対する残業の免除
 - ✓ 暴力・ハラスメントへの組織的対応
 - ✓ 医療スタッフのキャリア形成の支援 など

マネジメントシステムの普及（研修会等）・導入支援、勤務環境改善に関する相談対応、情報提供等

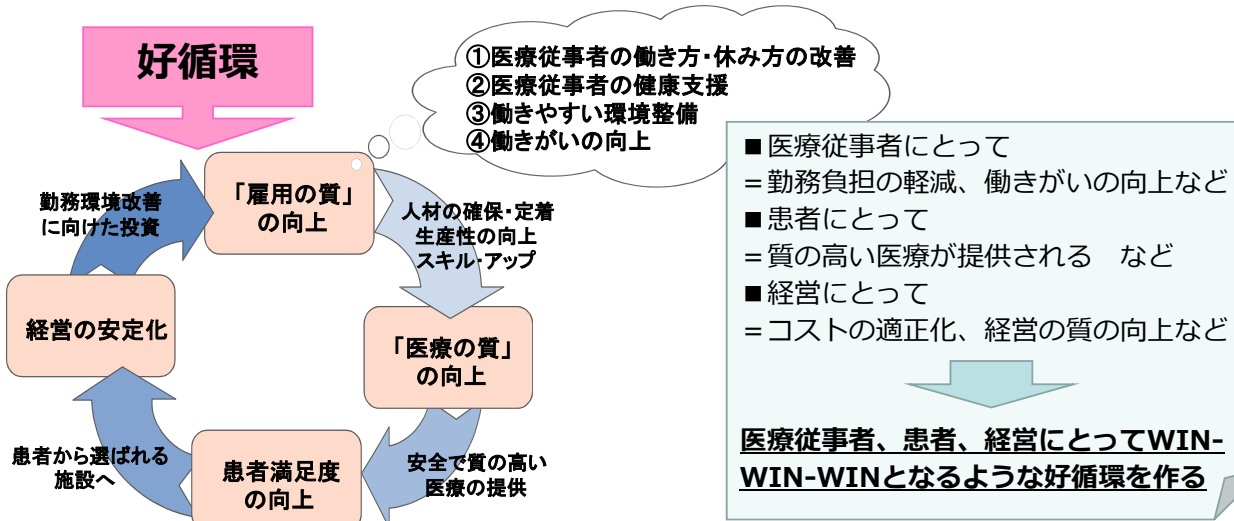


都道府県 医療勤務環境改善支援センター

- ▶ 医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士等）と 業経営アドバイザー（業経営コンサルタント等）が連携して医療機関を支援
- ▶ センターの運営協議会等を通じ、地域の関係機関・団体（都道府県、都道府県労働局、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、病院団体、社会保険労務士会、業経営コンサルタント協会等）が連携して医療機関を支援

医療勤務環境マネジメントシステムの普及拡大

- 医療機関が、「医療の質の向上」や「経営の安定化」の観点から、自らのミッションに基づき、ビジョンの実現に向けて、組織として発展していくことが重要。そのためには、医療機関において、医療従事者が働きやすい環境を整え、専門職の集団としての働きがいをもつよう、勤務環境を改善させる取組が不可欠。
- 勤務環境の改善により、医療従事者を惹きつけられる医療機関となるだけでなく、「医療の質」が向上し、患者の満足度も向上。



取組み状況 ①相談・個別支援

- 医療勤務環境改善マネジメントシステム導入
7医療機関(H28)
- 相談件数(院内研修含む)
 - 合計 116件(H27 42件)
 - 訪問 100件(H27 29件)
 - 電話・来所 16件(H27 13件)
- 職員満足度調査
4件(H28)

「職員満足度調査」

『職員満足度調査』実施に関するご案内

2016年3月

北海道医療勤務環境改善支援センター

取組み状況 ②周知・広報

- ホームページの開設
3,500アクセス／月
- パンフレットの作成
10,000部印刷 2年間で消化
- 事業の紹介
北海道医師会「北海道医報」9月号に支援センター記事掲載
医師事務作業補助研究会との交流
看護協会ナースセンター
- アンケートの実施
勤務環境改善の取組み状況調査(H27)
医師事務作業補助者の勤務状況に関する調査(H28)

取組み状況 ③研修会

- 主催研修
医療勤務環境改善マネジメントシステム講習会
3回(網走、帯広、函館)
- 道医師会との共同開催
7月9日(土)17:30~19:00 参加162名
「院内暴力対策セミナー」横内元警視庁捜査1課管理官
9月10日(土)17:30~19:00 参加30名
「育ボスセミナー」五十嵐、富樫社労士、小山田
- 院内研修(講師派遣)
講師派遣42回
「ハラスメントとメンタルヘルス対策」「看護職の離職防止」
「職場のチームづくり」「クレーム対応」
「傾聴トレーニング」「問題解決とロジカルシンキング」
「医師事務作業補助者の配置と活用」

完全無料

院内研修のご案内

勤務環境改善に係わる

- ①働き方・休み方の改善
- ②職員の健康支援
- ③働きやすさ確保のための環境整備
- ④働きがいの向上

につながる各研修を皆様のご要望に応じて、お同じして実施いたします。
講師料、交通費などすべて無料です。
研修所要時間は、60～90分に設定していますので、就業後の開催が可能です。
勤務環境改善マネジメントシステムを導入頂けるきっかけになれば幸いです。

北海道医療勤務環境改善支援センター
001-0011 札幌市北区北10条西4-1-23

お問合せ
TEL:011-214-9700 FAX:011-214-9701
<受付時間>午前9時～午後4時
詳しくは
<http://www.iryokinmukankyo.sakura.ne.jp/>
をご覧ください。

①職場のハラスメントと職員のメンタル不全対策
職場で大問題につながるハラスメント及びそこに密接に関わるメンタル不全について学びます

②メンバーの持ち味を生かした職場のチームづくり
より良いチーム医療を行うために、自分自身と相手の「持ち味」を発見し、生かすチーム作りとは

③採用で失敗しないための面接のポイント
採用のミスマッチで、早期退職や労働トラブルを起こさないポイントとは

④勤務する上で必要な労働ルール
「働くことは契約？」労使双方が労働ルールを知り、長く働ける職場を形成するための第一歩を学びます

⑤「医師事務作業補助者」の配置と活用
成果の出る「医師事務作業補助者」の上手な採用、配置と活用について

⑥個人情報保護研修
医療現場での「個人情報保護」の再確認と実践方法について

⑦クレーム対応研修
クレーム発生のメカニズムを認識し、予防方法や発生した場合の初動対応、再発防止などを学びます

⑧問題解決とロジカルシンキング
日々の業務はまさしく問題解決の連続です。問題の発見、解決課題の形成、解決策の立案、解決策の実施、評価、改善など論理的思考をベースに学びます

⑨傾聴トレーニング
「聞く力」は、コミュニケーションの基本です。傾聴力はトレーニングで身につきます

⑩コーチング研修
コーチングの3要素「傾聴」、「質問」、「承認」の方法を学ぶことで、コミュニケーション能力が飛躍的に向上します

取組み状況 ④今年度の重点施策

1. 医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及拡大

22医療機関

勤務環境改善の取り組み状況調査(H29)

2. 医療関係職の勤務環境改善施策

①勤務医の勤務環境改善

「医師事務作業補助者の資質向上と業務領域拡大」

②看護職の勤務環境改善

「早期退職防止とモチベーションアップ」

3. アドバイザーの資質向上

支援センター活用キット（労働法関係）

**これだけは知っておきたい
医療関係従事者の
労働法実務Q&A
（全21項目90問）**

厚生労働省／北海道／北海道労働局委託事業
北海道医療勤務環境改善支援センター

〒001-0010 北海道札幌市北区北10条西4丁目1-23
赤いマンション北大前403号

TEL：011-214-9700 / FAX：011-214-9701

E-mail：qqvd7xv9k@road.ocn.ne.jp

URL：http://www.iryoukinmukankyo.sakurane.jp

おわりに

ご清聴ありがとうございました